



第8号

《新年号》

発行所

坂田郡近江町飯12-3

天の川沿岸土地改良区

☎(0749)52-0067代



▲世継工区の700ミリパイプ埋設状況

▼3号分水附近



新しいほ場に新しい水で
春・送水開始へ……………管路は延びる



初春と迎えて

理事長 粕淵 光夫

謹しんで、新年の賀詞を申しあげ、併せて皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

平素は当改良区の事業運営に深いご理解とご協力を頂戴いたし、誠にこの情熱に対し厚くお礼を申し上げます。

かん排及びほ場整備の事業も、関係者方々のご協力により、まずまず進行いたしております。

さて最近のマスコミ等の宣伝も



土地改良は農業の柱

長浜県事務所 土地改良課長 中橋 規宏

わけましておめでとうござい

本年は天の川沿岸土地改良区の三十余年の歴史の中に新ポンプによる四月送水という輝やかしい一頁を加える年となりましたことを重ねておよろこび申し上げます。

組合員の皆様には、平素より土地改良事業の推進に格別のご尽力をいただいておりますことを心から敬意を表する次第であります。

ご承知のように、最近の農業をめぐる情勢は、いままでになく厳しいものがあります。即ち、農産物価格の低迷、外国からの農産物市場解放要求の高まり、農村の混

あります通り、現実として農業をめぐる情勢は、農村の混住化、労働力の高齢化、生産価格の低迷化加えて、農産物輸入等の外圧、世論的にも、国内のさびしい批判等ますますその内圧度も加えて来ています。然し、国民生活上、最も基礎的な物資である米をはじめとする各農産物こそ、食糧としての重大なる使命を維持いたし、特に国民食糧自給基地として強固に

する責任を負荷されています。この様な農業の源点を踏まえて、農業の維持と発展を図り、豊かで将来に夢ある村づくりの基本として進めるべきであると確信するものであります。

公共事業抑制等により財政的に圧迫されて計画的に事業が達成し難い状況ですが、何としてもこの、かん排、ほ場整備両事業の完成に向かつて、皆さん方の意志の結果により、凡ゆる困難を克服して、強力に推進しなくてはならないと信じます。栄光の陰に涙も必要であ

村づくりのための熱意の結集によって、多くの工区で事業が進行していますことは、私達も同慶の至りでありますが、現在、遺憾ながら国の公共事業抑制により土地改良長期計画の達成が深刻な状況となつていられることも事実であります。

計画通りの進行のため努力してまいる所存ですが、地区の皆さんの一致した熱意の継続の有無が予算の増減となつて厳格に表われてくるという情勢を御認識願ひ組合員の皆様の創意と英和の結果によつて、造成された施設は有効に活用し、今後着工区は、団結した力で、国の礎である農業の柱を土地改良によつて樹立されるよう、年の始めに当たり祈念致し御あいさつといたします。



年頭のごあいさつ

代表監事 田口 一郎

お目出度うございます。

初春を迎え謹んで新年のご挨拶と共に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。昔から、衣食住と云う語がありますが、現代に至り衣は洋服にかわり、食はパンが多くなり、住は洋式にうつりかわり、日本古来の衣食住が衰退しているこのごろです。大津市大石電門町に生菓子と製造しておられる寿長生の郷と云う菓子で人気を得、急成長している叶匠寿庵なる会社があります。

私がお伺いした時、着物を創つている貴方が着物を着ないで、だれが着るか、と、しかられました。

食にも住にも云えることで、ものづくり楽しく集う詩を紹介いたします。大きく支える、悠久の地、すつぱり包みこむ原生の林、果実のなる木達か、歳を重ねてむすびゆく、果樹の里、野の花観音さま、みちびかれ、ひらく花草、そんな中で、ものづくりの日暮し、土を耕し、木をそだて、菓子をつくる。

みんな、みんな、正直。みんなよろこんで働き、寿長生の郷、歓迎にみちみち。と有ります。何か心

体にならるる思いがします。ところで国内の生産力が、円高の影響で、どの業種にも困窮している現在、農業生産も例外ではありません、その上あらゆる農産物の自由化時代が、近く来ることから、日本の農業は、手も足も出ない時代に入るかも知れません。減反対策が日に日に、さびせが予想され、これからの農業は暗雲の中に、入つて抜け出せない時代に、入ろうとしている感があります。すが今こそ農業という、生産業と見直す時代で、あろうと思われま

す。そういう中で、当改良区も、広く事業を遂行している中、自然環境と共に健全な地域の視野を広め、総合的基盤整備の施策を図りながら、皆さんと共に、真剣に充実した、土地改良を推進すべきことを痛感致します。本年も、将来の希望ある展望の元に、整備事業、並びに、生産農業に、活力ある農業経営に、共に邁進しましょう。何卒旧年に倍して、各位の益々の、ご健勝とご発展を心からお祈りし、年頭のご挨拶と致します。

六十年年度財務状況

会計監査実施

昭和六十年年度一般会計と各特別会計の歳入歳出について会計監査を受けました。

八月二十二日監事全員出席のもと各細目にわたり証拠書類、各種帳簿すべてについて詳細に検査の結果、正当であると認められました。借入金についても事業進行とともに順調に償還できています。

田口代表監事より、事務の効率化と経費の節減のための努力について見るべきものありとの付言がありました。

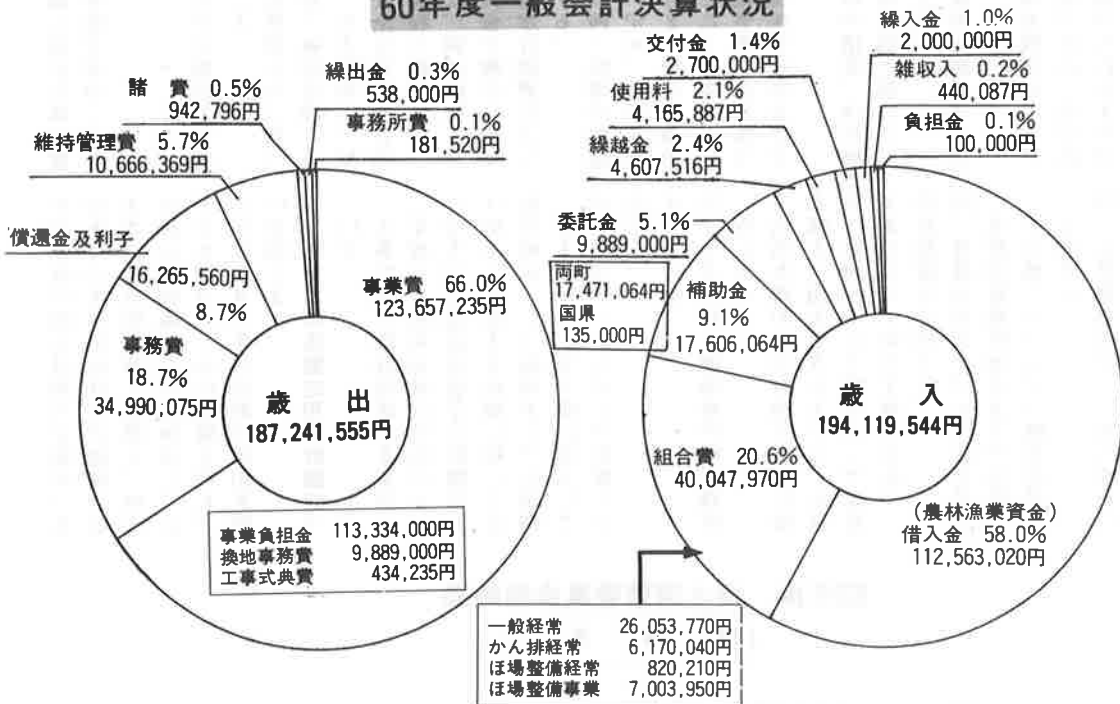
このことは八月二十五日第三回理事会に於て報告が行なわれました。

なお、この理事会では六十年年度事業報告、同一一般会計歳入歳出決算、同特別会計歳入歳出決算、同財産目録、同財務状況公表について、下流部揚水機場の廃止について付議され全部承認と決定されました。

財務状況は下の通りです。

(注) 組合員数	1,987人
地区総面積	830.1ha
かん排地区	765.0ha
普通地区	776.3ha
ほ場整備	528.6ha

60年度一般会計決算状況



ごくろうさまでした

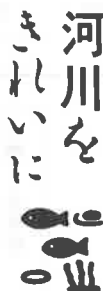
世継逆水ポンプ

世継の逆水として親しまれ、頼りにされてきた天の川下流部揚水機場がその使命を終え、新しいポンプ場にバトンタッチすることになりました。

昭和三十一年団体営として計画され、設計施工は県が実施、約八千万円の費用と

三年余の歳月をかけ、当時の土木技術の粋を集めて完成したものです。以来三十年間毎年、渇水期にはその威力を発揮し地域農家の強力な水の助人として頼りにされてきました。これを計画し、大変な障害を乗り越えて完成された多くの先人の労苦に心から感謝したいと思えます。

今年も、夏期渇水期には、連続二十四日間わ湖の水をくみ上げてくれました。しかし、このポンプもボツボツ老年代ものとなり故障回数も多く、また、送水管から水もれも現



河川をきれいに

古くからきれいな水が流れ、日常用水として使われてきた川が、最近特に気味わるいほど、汚れ、いろんなゴミがたまっているの目に見えます。農村の都市化の進展によって、農業用水路というより生活雑排水の無制限な排水先と化しているといってもよい所があります。つまり非農業的利用による管理費用の増大を招いています。誰でも、上流のことは気を付け下流のことは忘れる悪いくせがあります。下流域も「我々の川」です。大切な水、母なる川を汚さない工夫と努力を続けましょう。

揚水調整委員会を組織

第5回 理事会 揚水開始に備え 体制を整備

新春の揚水開始に備えた体制整備について、理事会で次のことが決まりました。

1 揚水機場かんがい施設の管理規程を定めること。

この規程は、定款第4条に基づいてかんがい施設の維持管理、操作について定め、用水確保と、配水施設の保護、安全管理を目的としています。規程の概要は、

○送水については、別に組織される揚水調整委員会で検討し、理事会で承認した揚水計画書により揚水機を運転する。

○施設の保守・点検・整備や機場の安全のための定め、施設を破損又は障害を与えた場合の復旧費の請求をすること。電気工作物に関しては電気事業法に基づき、別に保安規程を定めるなどがあります。

ほかに、異常時の措置、揚水機その他施設の管理記録と報告について定めたものです。

2 揚水調整委員会を組織すること。

この委員会は揚水機場かんがい用水の円滑な実施のため、前項の規程に基づいて設けられるもので、揚水機場水利関係の各分水ごとに水利係若干名を決めてもらい、その中から互選された一名の委員と当改良区役員若干名で組織され、

その年度の揚水計画の立案や、各分水毎の用水供給状況の調整、取水状況の点検調整・監視と、揚水計画の周知徹底などを担当し、公平な水配分のための権限を持ち、各地区より二年の任期で選出を受け委嘱します。

3 六十二年暫定用水計画について

工事計画の部分完成による六十二年の管送水地域は別図のとおりですが、ほ場整備着工の影響を受け用水の不足する地域に対しては暫定用水として臨時ポンプを設備します。現在、五ヶ所に主としてターセルエンジンポンプを置く予定です。

4 その他

(1) 中多良揚水機場横の排水路改良について
当揚水機の能力を補うために排水路より揚水できるように、水路の一部掘り下げて暫定ポンプ揚水するもので、県の工事のなかで一部負担金を支出する。

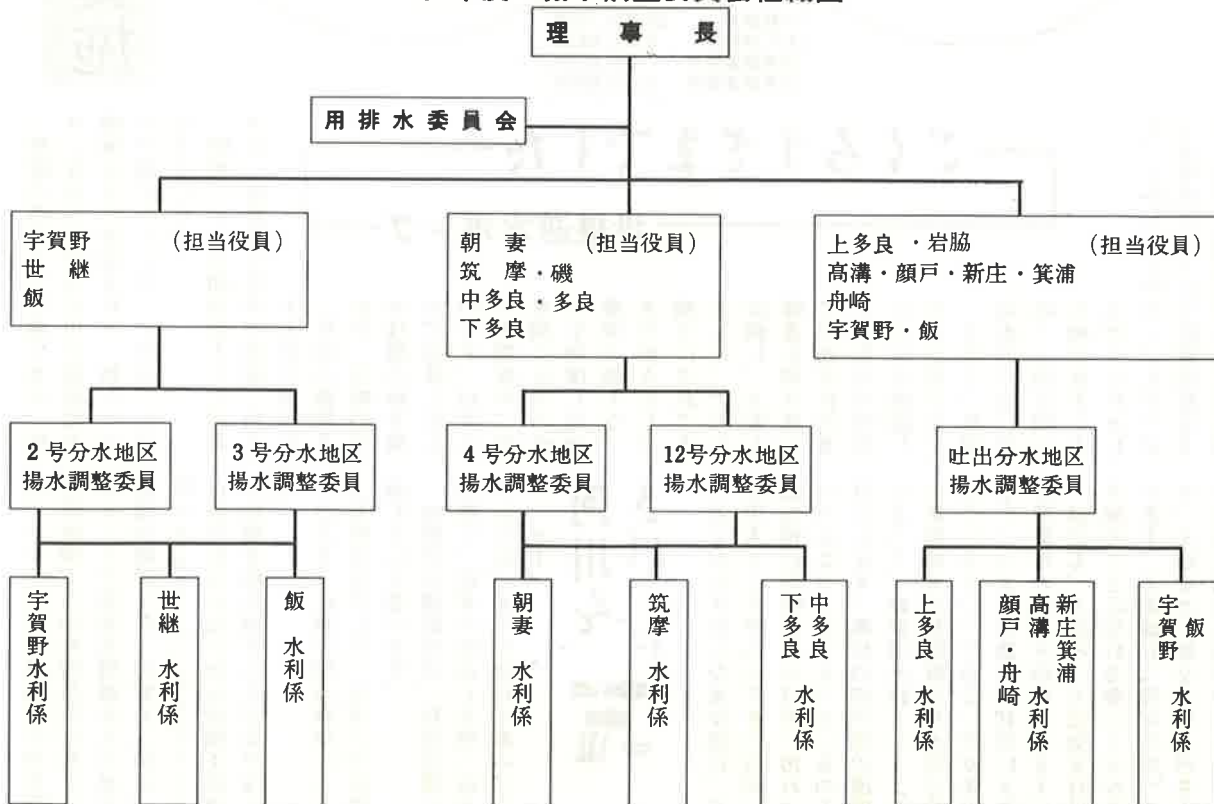
(2) 世継逆水ポンプから新3号分水新旧管接続地点までの旧管のとり壊しについて一部負担金を支出する。

(3) 上多良揚水ポンプ場の廃止について

揚水調整委員会の組織図は下図のとおりです。

以上

62年度 揚水調整委員会組織図



電業社が落札

揚水機場ポンプ据付け

新装の揚水機場には、本年度は億四千万円で落札、工期は五月末四〇〇ミリポンプ二台三三〇キロワットモーター二台が設備されま

て、これらの工事を、東京・電業社機械製作所が債務負担を含め二

六十二年度事業予算要求

昨年十一月、県事務所から六十二年度県営事業の実施予定について、予算要求内容の説明がありました。

○天の川西部地区
事業費 四一、三四〇万円
内容

○世継・長沢工区 二八・二ha
○橋梁工事 一式
○道路舗装工事 一・五km

農業をめぐる内外情勢の厳しいなかですが、農業基盤整備のための計画的な推進のため両町当局とともに強力に陳情、予算の獲得に努力してまいりますので組合員各位の御支援をお願いします。

○天の川西部南地区
内容
○中多良・上多良・飯工区 三七ha
○天の川東部地区
内容

▼県営かんがい排水事業

○天の川地区
事業費 三〇、七四〇万円
内容 ○揚水設備 一式

○北幹線水路 四〇〇m
○中央幹線水路 三〇〇m
○南幹線水路 六〇〇m

▼県営ほ場整備事業

▼換地事務受託業務
関係各工区 二、八四三万円

送水主管はFRPPM管

主管に使用される管は、殆んどがF・R・P・M (Fiberglass Reinforced Plastic Mortar) 管で、強化プラスチック複合管ともいえます。きわめて高い引張り強度をもったガラス繊維を、長繊維のまま樹脂を含浸させて縦横に巻きつけて成形することで、繊維の強度が最も有効に活用できるようにしてあり、更に、内外層にガラス繊維を集中的に配分、中間層に樹脂モルタル層を設けて、一段と剛性をもたせています。(ガラス繊維の引張り強さはピアノ線の三倍) 特徴としては、

- 1 水密性にすぐれている。
- 2 強度が非常に大きい。
- 3 軟弱地盤に最適
- 4 継手部に伸縮性があり不等沈下や地盤の変動に対して充分順応できる。
- 5 内面が滑らかで通水性に優れる
- 6 すぐれた耐食性がある
- 7 摩耗に強い
- 8 コンクリート製品の冷程度しか

支管はVPP

この管から出る支管には、すべてビニールパイプが使われていま

すから、特に管網地区は末端部で農作業による破損、土手の草焼きの際、焼損のないよう充分気を付けてください。

天の川合同井せき 護床ブロック 工事完了

本年度の農業用河川工作物応急対策事業として計画されていた合同井せき護床ブロック据付工事が近江町山田建設の施工により完成しました。

井せきの下流が洗堀され堤防の基礎部分まで危険な状況にあったため、昨年から護床ブロックの作成にかかり、本年度据付けを行なったもので、総費用三千万円という大がかりなものです。この工事完成により大きな不安が取り除かれたこととなります。



理事会 現地視察

第四回理事会に先立ち役員全員による現地視察を実施しました。

ブロック据付け工事中
(六十一年十一月)



62年度

管送水地域=175ha



管路をたどる

世継工区

中岡組と
中川組

世継工区(二頁)では秋の好天に恵まれ主管(直径七〇〇ミリ)が次々と、矢板打ち、堀さく、管の敷設工事地ならし埋設と手際よく進められています。ポンプ場から米原方面へ送水するためのメインルートとなるもので、すでに昨年継続し中岡組がほ場整備も合わせて



二四、二三〇万円の工費で請負い重機を駆使して施工しています。工期は一月三十一日、この附近には、旧世継逆水ポンプからの主管(九〇〇ミリヒューム管)が通っているのので、交差点で接合し、ポンプからこの地点までの、ほ場整

備地区はとりこわし整理、ここから先の旧管はそのままもう少し利用していきます。

主管は、飯工区へ少し入って、九〇度曲がり、再び世継工区へ入って約七〇〇メートル西進、天の川下流部で川底を横断します。

ここまでは、(天の川横断送水管を除く)米原町中川組が六、五〇〇万円で落札、工期は二月二十日です。

最大の難所

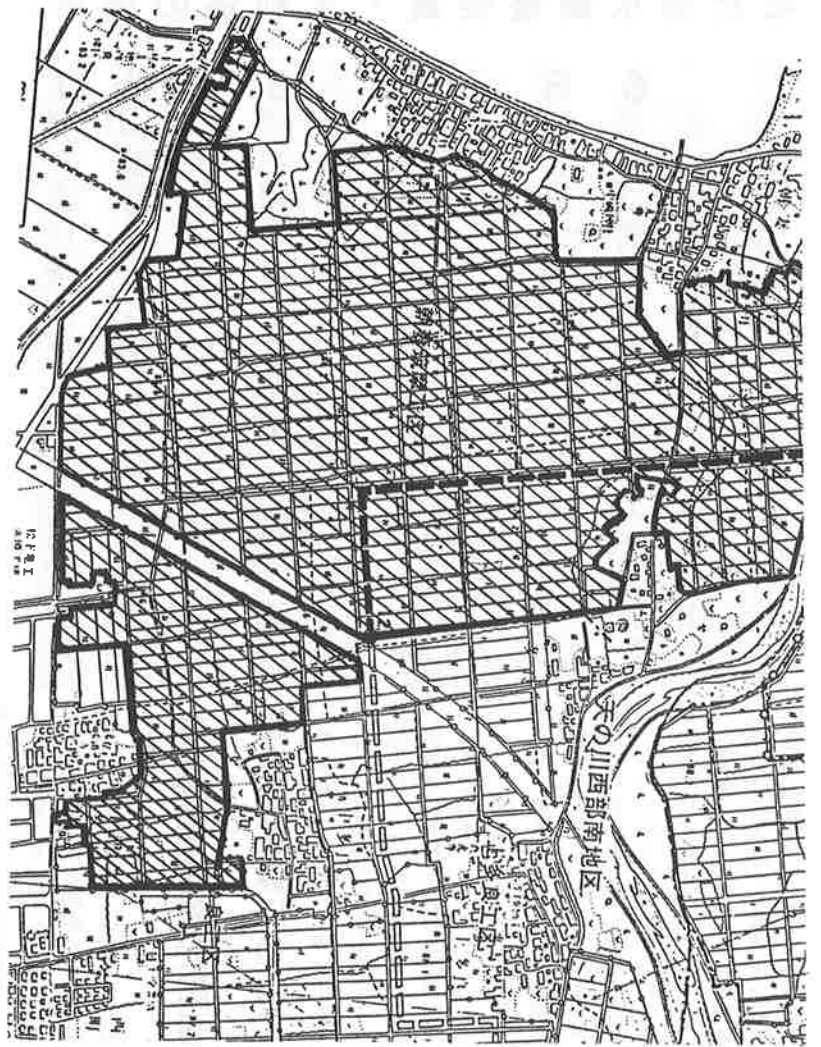
本庄工務店

天の川横断工事は、長浜市・本庄工務店が請負いました。費用八、〇〇〇万円、工期は三月二十五日、



▲この下をパイプが…… 天の川下流部

天の川の地下数メートルのところを真っすぐに朝妻側へ掘進されま



す。(直径九〇センチの推進管の中へ七〇センチのFRPM管が入る)この工事の成否が通水時期を左右するという極めて重要な注目すべき大工事です。全国的にも数少ない最新の機械力を動員して施工されます。一日も早い竣工を待たれます。

朝妻地区

中幸組

筑摩・中多良工区のほ場整備、及び配管工事は米原町川森組が一八、二〇〇万円で落札、工期は

筑摩 中多良 川森組

川を渡って朝妻地区は、虎姫町中幸組が管網配管工事を請負いました。工費九、七九〇万円、工期三月二十五日。

一月三十一日となっています。

蓮沼整備も

また、筑摩地先、蓮沼環境整備と8号支線排水路工事を合わせてこれも川森組が一〇、三七〇万円で落札、三月二十日工期で施工しています。

▶面工事進む
長沢工区湖岸寄り



その他の工区

宇賀野 長沢 工区

キタガワ建設

国鉄北陸線をはさんで、びわた川と土川の間、宇賀野・長沢工区二二ヘクタールと長沢西部七ヘクタール、さらに能登勢二・四ヘクタールをあわせて長浜市キタガワ建設が、七、九九五万円で落札。工期は十二月二十日の竣工です。

びわた川橋梁工事

土川橋梁入札は3月か

宇賀野工区・びわた川橋梁下部工事は、国道8号線暗渠の工事とあわせ近く入札が実施される予定です。

土川橋梁については、国の債務負担工事として3月入札の予定となっています。ほかに、各工区の調査測量設計業務が実施されます。



高溝 顔戸 工区 平田組

組合体制が六十年に整備され、諸般の情勢で着工が遅れていましたが、十一月初め、米原町の平田組が五、五七五万円で請負いました。バイパスの東、新幹線の北側幹線排水路を、びわた川の改修と合わせていよいよ工期を三月十五日として動き出しました。古代からの文化財の宝庫といわれる当地区の順調な施工を祈ります。

地元揚水調整委員・水利係の指示、指導にご協力を！

節水

につとめ ましよう

ポンプの運転計画は揚水調整委員会で審議しますが、高圧電気を受電し、高い容量の電動機を回す関係で、高額の電気料金を負担しなければなりません。現在の考えではポンプ運転については、四月から五月始めの連休時には昼夜運転し、その他の時期は昼間だけ運転の予定です。電気代のかかった水です。末端での節水の如何が運転経費に直接響いてくるわけです。他人ごとではありませんので節水につとめてください。

1 代かきは浅水でしましょう。

2 田植時の水は落とさないように
ましよう。

3 排水路へ落とさず田ごとかけ流し
に協力しよう。

4 管理期のかげ流しかんがいはやめ
ましよう。

5 びわ湖の浄化につとめよう。

6 ポンプ場には非常用電力がないた
め、雷時にはポンプ運転を中止す
ることがあります。

農地転用には 決済金を

当土地改良区の地区内の農地を農地法の定めにより又は、公共施設用地(道路・河川敷・宅地造成用地等)として譲渡(売渡し・寄付等)された場合は、地区除外申請とともに、権利義務について決済手続が必要です。なお、賦課金等も完納して頂かなければ転用許可がおりないこととなります。転用の届けをせずに宅地等に現況を変更しますと賦課金を引き続き納入して頂かなくてはなりません。御注意下さい。

農業者年金受給者

と 組合員名義について

農業者年金に関して59・60年度の国の会計検査や行政監察により、実態を伴わない経営移譲がある。と指摘され農林省に対し改善を求められています。

その一環として、経営移譲者(親)から農業後継者へ経営移譲の実態を確認するため、土地改良区や農協の組合員名義の変更を確認したいので協力してほしいという依頼を受けています。

組合員名義の変更は、土地改良法43条により本人から改良区へ通知する(得喪通知)ことにより行なわ

れます。通知書は当事務所に用意してあります。関係のかたはまず御相談下さい。

土地の権利移動…… 必ず届けを

当土地改良区域内の土地についての売買・交換・譲与・相続等の場合、名義の移動についても法第四十二条により権利義務の承継又は土地改良区にその必要な決済をすることが義務付けられておりますので、所定の届出用紙により必ず提出をお願い致します。

賦課金は 4月1日現在 の所有者に!!

賦課金は四月一日現在の所有者に対して、その一年間は納付書を発行します。その年度内の権利移動については当事務所で調整してくださるようお願い致します。

3月 総代改選

当改良区総代(四十三名)は三月で四年の任期が満了となります。四年間組合員の代弁者として改良区事業発展のためご尽力を頂きほんとうに御苦労さまでした。

三月改選となりますが三月の総代会は現総代さんの出席を願うこととなります。四月からは改選された総代の皆様に改良区の進路を

委ねることになりますので各地区ともよろしく願います。

編集後記

「わが郷の繁栄担う土地改良」の「郷」の繁栄は、一人一人の組合員の幸せでもあります。将来の幸せを求めて現在九つの工区で県営土地改良工事が同時進行をしています。各組合の役員の方々や組合員の皆様の御指導・御協力を頂きながら本年も「繁栄」へ向かって大きく飛躍したいと思えます。

昨年は水不足が心配されましたが、たわなに稔った豊作の秋となり喜びのなかに虎年を送りました。一方、外国からも自由化への風当たりが一段と強まってきました。米の自給率は達成できても飼料作物を含めた穀物自給率は三二%という現状は、「世界の農業の恩恵を受けずに一日も生活できない」宿命があるといわれています。

転作面積の拡大となつてその第一波が現われているいまこそ水田の汎用化、区画の大型化を図る水田の整備が緊急な課題であり、農業基盤の整備を図らなければなりません。

新ポンプの送水元年をむかえ、地域農業の「用水豊潤」を祈念して、本年もよろしく願います。